【小笠原研究年報のひな形】

＜表紙＞

タイトル

原稿のタイトルを記載してください。

著者

第1著者の氏名（日本語とローマ字表記）

第2著者以下がいる場合も同様

連絡先

〒xxx-xxxx

原稿の問い合わせが可能な著者の住所

原稿の問い合わせが可能な著者の所属

Tel：xxx-xxx-xxxx

Fax：xxx-xxx-xxxx

E-mail：xxxx@xxxxx.xxx.xxx

**タイトル** [MS明朝、英数字はTimes New Roman/14pt]

第1著者の氏名（所属）［「姓」と「名」の間を半角あける。右寄せ。

MS明朝、英数字はTimes New Roman/12pt］

第2著者以下がいる場合も同様に記載

**要　約**

原稿の要約を300字以内で記載してください [MS明朝、英数字はTimes New Roman/12pt, 以下同様です]。

カンマとピリオド（. ，）ではなく句読点（。 、）を使用してください（以下同様です）。

**I. はじめに**

　研究の背景や目的などを記載してください。「はじめに」という表現は一例です。研究内容に応じて体裁を適宜修正してください。必要に応じて小見出しを入れてください。小見出しは「1. ○○○」（MSゴシック）のように表記してください。

　単位・数量の書き方はメートル法に準拠します（例：1/3、10%、15 m、40 km、63 g、3.5 t など）。

本文中での文献の引用は以下のようにしてください（以下同様です）。

　上付きの 1 などは用いないでください。日本語文献は、著者が2名以下の場合は「伊藤（1993）、内田・松田（1990）によると・・」、著者が3名以上の場合は「木村ほか（1993）によると・・」のように引用してください。文末の（ ）内での引用は「・・が知られている（内田・松田、1990; Wilson *et al*., 1992）。」や「・・である（上田ほか、1993）。」のように引用してください（*et al*. はイタリックで表記します。（ ）内の複数文献は半角のセミコロンで区切ってください）。

　欧文文献は、Balford & Thomas（1992）、3 名以上は Burleu *et al*.（1982）のように引用してください。文末の（ ）内での引用は、「・・が知られている（Balford & Thomas, 1992; Wilson *et al*., 1992）。」のようにしてください。

II. 材料と方法

　研究の調査地、調査方法、データの解析方法などを記載してください。「材料と方法」という表現は一例です。研究内容に応じて体裁を適宜変更してください。必要に応じて小見出しを入れてください。小見出しは「1. ○○○」（MSゴシック）のように表記してください。

III. 結果

　研究の結果について記載してください。「結果」という表現は一例です。研究内容に応じて体裁を適宜修正してください。必要に応じて小見出しを入れてください。小見出しは「1. ○○○」（MSゴシック）のように表記してください。

IV. 考察

　研究の結果に基づいて結論に至るまでの議論を記載してください。「考察」という表現は一例です。研究内容に応じて体裁を適宜修正してください。必要に応じて小見出しを入れてください。小見出しは「1. ○○○」（MSゴシック）のように表記してください。

謝辞

　研究に対して助成を受けた研究費などがあれば記載してください。また、もし研究の内容の全てもしくは一部がすでに公表されている著作物の内容を改訂したものであれば、その旨と引用元についても記載してください。

文　献

　文献の言語にかかわらず第一著者の姓をアルファベット綴りした場合の、アルファベット順に並べてください。同じ著者名が続いた場合も省略しないでください。日本語の文献の場合、著者の姓と名の間を半角空けてください。雑誌名や Proceedings のタイトルは省略しないでください。日本語・英語の文献に関わらず、括弧、カンマ、ピリオドは半角とします。

私信は、引用文献リストには含めません。本文中では「・・が観察された（可知 直毅氏による私信、2020）。」や「可知 直毅氏（私信、2020）によると、・・が観察された。」のように記述してください。

***日本語の論文***

町田 洋・新井 房夫 (1978) 南九州鬼界カルデラから噴出したテフラーアカホヤ火山灰. 第四紀研究 17: 143-163.

***日本語の報告書***

加藤 芳郎・宇津川 徹 (1981) 父島の土壌. 小笠原諸島自然環境現況調査報告書(2). 東京都, 133-142.

***日本語の単行本***

町田 洋・新井 房夫 (1992)『火山灰アトラス』東京大学出版会, 276p.

***日本語の単行本の一部***

黒田 直 (1992) 土壌．小笠原自然環境研究会 (編)『フィールドガイド小笠原の自然―東洋のガラパゴス』古今書院, 46-51.

***日本語のオンラインの情報***

小笠原村 (2020) 小笠原村公式サイト. https://www.vill.ogasawara.tokyo.jp/（最終閲覧日: 2020年2月22日）

***欧文の論文***

Aubry MP, Berggren WA & Kent DV (1988) Paleogene geochronology; An integrated approach. *Paleoceanography* 3: 707-742.

雑誌のタイトルはイタリックにしてください。

***欧文の報告書***

Olsen RR & Cameron JL (1993) Larval development of the pencil urchin. *Proceedings of 6th International Echinoderm Conference*, 807p.

報告書のタイトルはイタリックにしてください。

***欧文の単行本***

Fagri K & van der Piji L (Eds.) (1979) *The Principles of Pollination Ecology*. Pergamon Press, 500p.

本のタイトルはイタリックにしてください。

***欧文の単行本の一部***

Hori R, Pang VPE & Jin LT (1991) On the pattern of gonadal development of the sea urchin. In: *Biology of Echinodermata* (Ed. by Yanagisawa T, Yasumasu I, Oguro C, Suzuki N & Motokawa T), CRC Press, 249-255.

本のタイトルはイタリックにしてください。

***欧文のオンラインの情報***

Plummer M (2018) rjags: Bayesian Graphical Models using MCMC. R package version 4‐8. [https://CRAN.R-project.org/package=rjags](https://cran.r-project.org/package=rjags), Accessed 24 April 2019.

＜表について＞

表は1つずつ別紙に書いてください。1つの表は原則として1ページに印刷できる大きさとします。1ページを越える表については2ページ以上に分割してください。表のタイトルと説明は表の先頭に書いてください。

＜表の説明＞

表1　生育地点の環境と個体数（例）

生育地点は父島で6地点、母島で4地点である。

表がある場合はタイトル（MSゴシック）を挙げたのち改行し、本文を読まなくとも理解できる程度に説明（MS明朝、英数字はTimes New Roman）を加えてください。

表2　複数の表がある場合は表1と同様の体裁で記載してください。

＜図について＞

図は1つずつ別紙に書いてください。図は、そのまま製版できる状態のものを本文の最後に順番に添付してください。図は、著者に渡すPDF版ではカラーです。印刷物でカラー図版を希望する場合は事前に編集委員会に相談してください。図の説明は別紙にまとめて書いてください。

図の作画者や写真の撮影者が著者と異なるときは、そのことを明記し、また必要な場合は、著者においてあらかじめ著作権者の許可を受けておいてください。

＜図の説明＞

図1　降水量の年変動（例）

2000年から2016年の各月の降水量を示す。図中のバーは平均降水量を下回った月を示す。

図がある場合はタイトル（MSゴシック）を挙げたのち改行し、本文を読まなくとも理解できる程度に説明（MS明朝、英数字はTimes New Roman）を加えてください。

図2　複数の図がある場合は図1と同様の体裁で記載してください。